

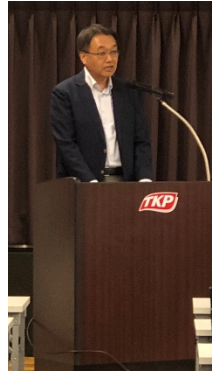
食品産業生産性向上フォーラムin 仙台 開催結果報告

2018年9月3日（月）13時より、TKPガーデンシティ仙台にて、「食品産業生産性向上フォーラムin仙台」を開催した。参加者総数は約85名、うち食品関係者が28名であった。他、ロボット機械関係23名、コンサル関係4名、政府・公共機関18名、その他2名であった。フォーラムの内容は下記のとおり。

1. 趣旨説明（農林水産省食料産業局審議官 渡邊厚夫氏）

近年、労働生産性向上が重要視されている。我が国の労働生産性は6割にとどまっており、海外と比較しても低いレベルである。今後の食品製造業のカギは労働生産性向上である。魅力的な商品を開発し、その企画を挙げ、売上を目指すことが重要となる。また、人材難の中で機械化、IT化を高め、分母の数値を下げるのが重要となる。食品製造業の人材不足は深刻である。その背景には、景気が拡大している中、労働時給が生産利益を逼迫していることがある。生産現場の効率化で人手不足を補わなければ、生産が追いつかない事態になりかねない。本日のフォーラムが、具体的な取り組みへ向けた第一歩となることを期待している。

渡邊審議官
趣旨説明



2. 基調講演（食品生産性向上フォーラム企画検討委員長 弘中泰雅氏）

生産性とは、顧客にとって有益な商品を出し付加価値を出すことである。投入した労働力が効率よく生産に使われていることが労働生産性が良いということ。しかしながら、生産性を数字できちんと捉えられている工場や経営者は非常に少ない。工場の生産性は会社の売上ではなく、工場の出荷金額を見ることが正しい。工場出荷額から原材料を引いたものが工場が生み出した付加価値となる。それを一人当たりで割ったものが価値となる。工場全体だけではなく、部門ごと、ラインごとにすることで課題対策を出しやすくなる。生産性向上に向けて、労働力の有効活用とスケジュール管理が大切。食品会社は生産物の種類が多く、視覚化すると無駄が多く見える。そのため、生産性2倍のカギとしては、「運搬の改善」、「スケジューリングの改善」などが考えられる。

3. 基調講演（i Smart Technologies 株式会社CMO 永坂彰啓氏）

「1時間で始めるスマートファクトリー化」がテーマ。旭鉄鋼株式会社内で生産性を上げるためのツールとしてIoTを導入した結果、改善効果が大きく、このツールを他企業にも導入したいと i Smart Technologiesを設立。中小企業の生産性向上に役立てることを目的とし、その第一歩として生産性の見える化を目指す。80ラインに導入実績が有り、平均34%の改善効果を出している。また、設備投資の抑制に加え、労務費や残業代を押さえることで年間1億円以上の節約ができた。コンサルティングも実施しており、まずは1ヶ月導入トライアルができる。データで数字を出すことで生産性改善のポテンシャルを出すことも可能である。

4. 基調講演（一般社団法人 日本ロボット工業会 高本治明氏）

食品製造業でもロボットへの注目が近年高まっている。センシング技術とAI技術が進歩したことが大きく、画像処理が使いやすくなった。もう一点、協働ロボットが誕生したことも大きい。ロボット導入の留意点としては、工場全体の生産性向上が必要であり、1箇所だけのロボット導入では全体の課題は改善されない。工場全体の工程の状況を把握した上で、ロボットをその改善のツールとして活用すべきである。など、ロボット導入のポイントについて説明。

5. 先進事例紹介（株式会社神戸屋 東京工場工務課係長 赤塚秀孝氏）

「生産性対前年120%」と目標を立て、食品製造の工程「①仕込み工程」、「②成型工程」、および「③仕上げ工程」を中心に、付加価値生産性を上げるための改善活動を実施した。管理監督者を中心に、自ら問題点を見つけて改善していき、全体の生産性向上につなげていくことの大切さを意識できた。当初はコンサルティングのアドバイスに対して受身であったが、時間が経つにつれて自分たちからの報告を積極的にを行い、また、ラインごとに生産性向上の競争が生まれた。

6. 先進事例紹介（株式会社オフィスエフエイコム General Manager 青木伸輔氏）

Slerの立ち位置として、顧客のロボット導入への思いを伺い、企画構想～現地の立ち上げまでを実施。メインの工場は栃木で、ベトナム、タイ、上海、シンガポールの海外4拠点を有する。コスト、スピード、スペースが合わないために、ロボット導入が出来ていない事例が多い。そのため、それを解決する装置化についてアドバイスをする。コンビ二等のおにぎりの番重詰めロボットシステム始め、取り組み事例を動画により紹介。

7. 農林水産省よりお知らせ（農林水産省食料産業局食品製造課企画官 阿部徹氏）

農林水産省の補助金政策に関する2つの取組「食品製造業生産性向上緊急支援事業」と、本「食品産業生産性向上フォーラム」の紹介、説明頂く。また、「働き方改革」についてハンドブックでは、「働く人や企業のために確認すべき12の項目」チェックリストなどを紹介。

8. 生産性向上支援事業者によるプレゼンテーション

下記の支援事業者9社によるプレゼンテーション。
シナプスイノベーション、農研機構、パナソニック、エリオス、CKD、妙徳、ニチワ電機、オムロン、バイナス

9. 交流会

上記プレゼン企業に加え、講演者の i Smart Technologies、オフィスエフエイコムに加え、隣接の展示交流会場で交流会を行った。

フォーラム風景

